

きらりと光る!
感謝と成長の
バトン

みかん

香我美小学校だより 第33号

令和8年3月2日

校長 岡崎 恵子

～「6年生を送る会」で見た、新しいリーダーの姿～

校舎に優しく、そしてわくわくの風が吹き抜けました。金曜日に行われた「6年生を送る会」。卒業を間近に控えた6年生に感謝を伝えるため、5年生が中心となって企画・運営を行いました。



全校が一つになった 全校で楽しむゲーム

縦割り班で挑んだ「学校かくれんぼ」では、「どこに隠れているかな?」「あっちに行ってみよう!」異学年が手を取り合い、必死に探す姿。下級生が上級生に甘え、手を取り合い、それに応える上級生の優しい眼差し。校舎のあちこちから歓声が上がリ、まさに「わくわく」が溢れる時間となりました。他にも「新聞リレー」や「爆弾ゲーム」など異学年で力を合わせて楽しむ光景が体育館に広がりました。



想いが詰まった色紙、見つめる瞳

会の締めくくりには、1年生から5年生までが心を込めて書いたメッセージ色紙が手渡されました。

受け取った6年生が、一枚一枚のメッセージをじっと見つめる姿が印象的でした。そこには、共に過ごした日々への誇りと、

少しの寂しさ、そして後輩たちへの信頼が混ざり合った、とても綺麗な瞳がありました。



5年生の「考動」が、学校を動かした



今回の会を成功に導いたのは、次年度リーダーである5年生の活躍です。5年生は単に計画を進めるだけでなく、自分たちで考え、判断し、動く「考動」を見せてくれました。

☆「どうすれば全員が楽しめるか」を練り上げた企画力

☆下級生を優しくリードし、場を盛り上げた統率力

☆準備から片付けまで、誰かのために動く献身的な姿勢



5年生の動きと、6年生を敬う気持ち。その一生懸命な姿があったからこそ、校舎内には「やさしい風」が吹き抜けたのだと感じます。

6年生が築いてきた伝統のバトンは、今、しっかりと5年生の手に渡り始めています。今週からは、縦割り班掃除のリーダーも担っていきます。卒業まで残りわずか。この温かい絆を大切に一日一日を過ごしていきます。